

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 16 号)

平成29年3月3日発行

兵庫のり研究所

ユーカンピアはこの海域西部の沿岸周辺域においては依然として多く確認されますが、それ以外の海域では散見される程度にまで大幅に減少しました。窒素は、地先では概ね2~4 $\mu\text{g at/L}$ 台、西部沖筋で1 $\mu\text{g at/L}$ 以下、東部沖筋で1 $\mu\text{g at/L}$ 台でした。明石海峡周辺海域においても窒素は2 $\mu\text{g at/L}$ 台の低い状況が続いています。まとまった降雨による栄養塩の供給ならびに明石海峡部周辺海域の栄養塩回復が待たれます。

(水温) 漁場内平均9.4℃。(塩分) 平均31.42psu。前回(31.11psu)より約0.3psu高い。

(栄養塩、珪藻) ユーカンピアの発生状況は、別府~二見地先周辺でやや多く(海水1mlあたり100~200細胞)、高砂以西(伊保・白浜漁場含む)の海域では依然として多い。細胞形態は前回(2/25)調査同様、色素が薄くなっており活力は低下しているものと思われる。東部海域ではユーカンピアは大きく減少しており、その他の珪藻は海域全般に少ない状況であることから、今後まとまった降雨がほしいところ。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.2	9.4	9.0	9.8
窒素	2.1	1.8	3.1	3.9
リン	0.26	0.30	0.29	0.30

(2/25)

(3/4)

西播地先

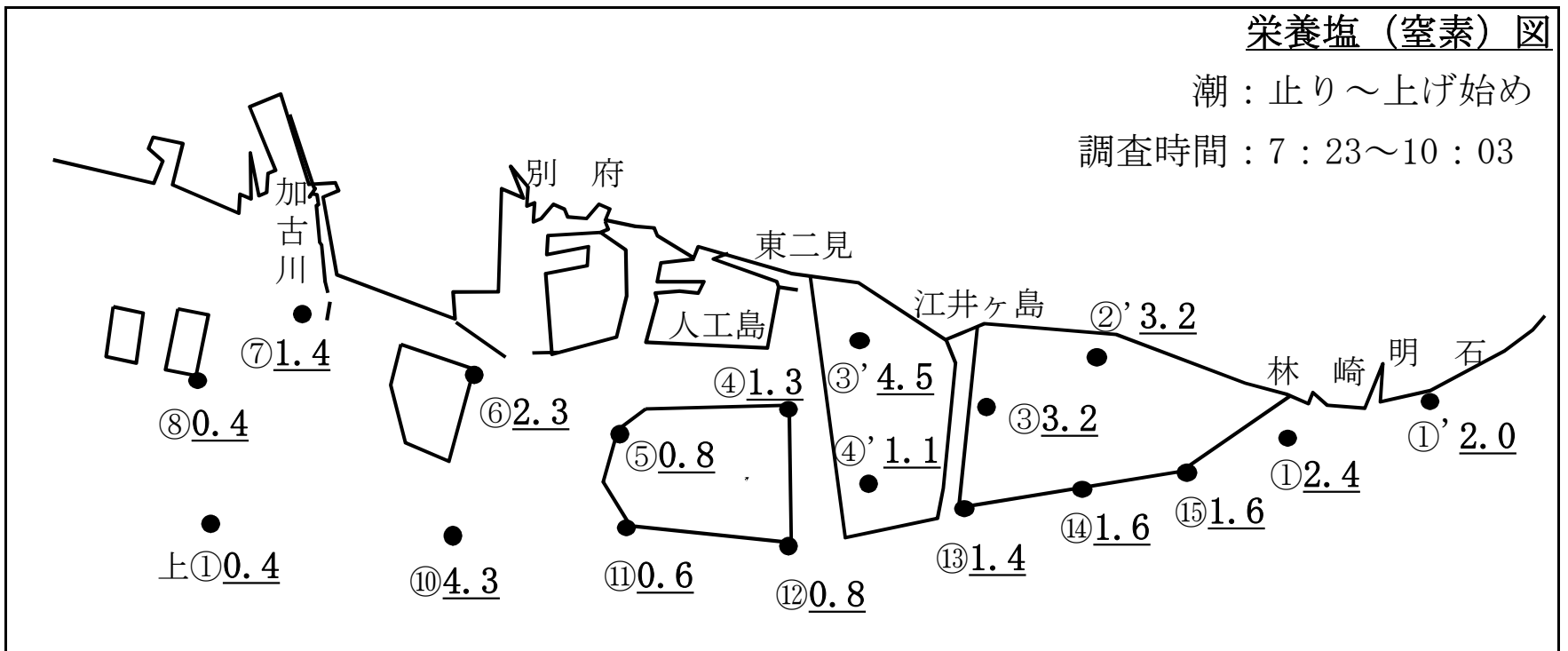
伊保地	水温	9.6℃	伊保沖	水温	9.5℃
	窒素	0.7		窒素	0.7
	リン	0.21		リン	0.20
白浜地	水温	9.7℃	白浜沖	水温	10.1℃
	窒素	0.3		窒素	1.2
	リン	0.21		リン	0.23

平成29年3月3日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：止り~上げ始め

調査時間：7:23~10:03



水温図

